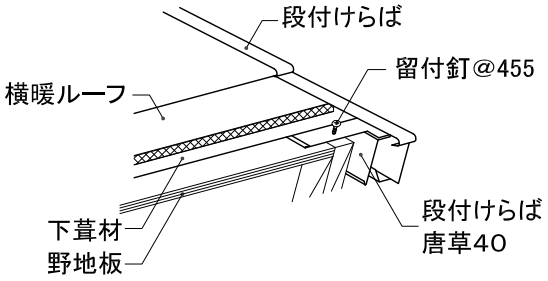
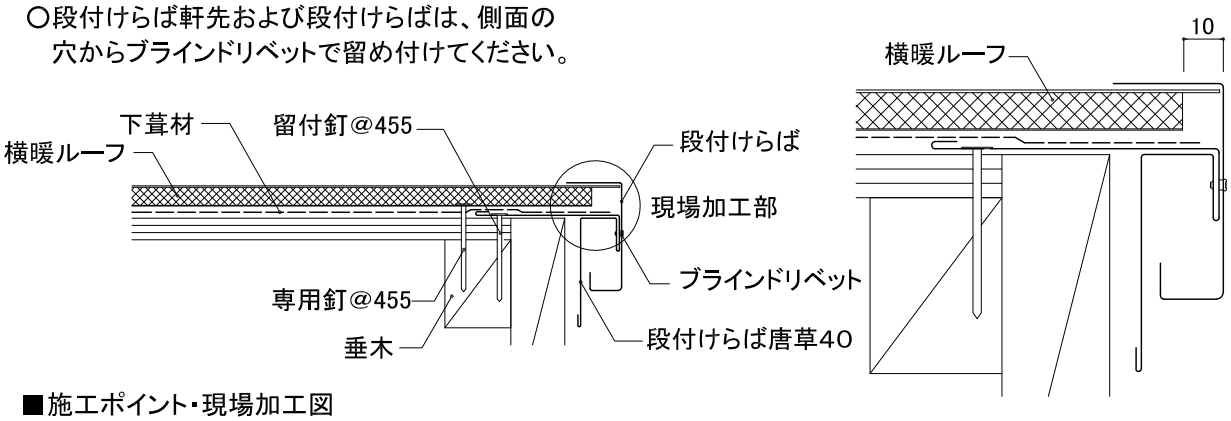
横暖ルーフ	工 法	下 地	構造
	新築	耐水合板	木造

4）けらば部　｜　③段付けらば唐草40＋段付けらば

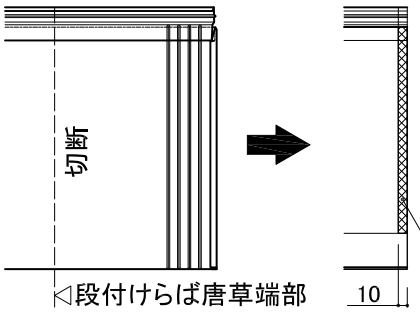
○野地板の上に、段付けらば唐草40を留付釘（ステンレススクリュー釘長さ32㎜以上）を用いて、455㎜以下の間隔で留め付けてください。
○下葺材を張り、横暖ルーフα本体は専用釘（ステンレススクリュー釘φ2．3㎜×50㎜）を用いて、455㎜以下の間隔で垂木に留め付けてください。
○段付けらば、はけらば小口にかぶせるように取り付けてください。その際、軒先から段付けらば軒先を施工し、以降段付けらばを使用して施工してください。
○段付けらば軒先および段付けらばは、側面の穴からブラインドリベットで留め付けてください。





■施工ポイント・現場加工図
○横暖ルーフ本体のけらば部分は図のように加工してください。

①段付けらば唐草の端部となる位置を切断します。



②端部から10㎜の位置まで芯材のウレタンと裏面紙を剥がしてください。

芯材ウレタンと
裏面紙を剥がす

○段付けらばは図のように軒先からかぶせるように取り付けます。
軒先は必ず小口付きの「段付けらば軒先」を使用してください。

※「段付けらば」、「段付けらば軒先」は形状が左右で逆になります。
必ずご確認の上、施工してください。

